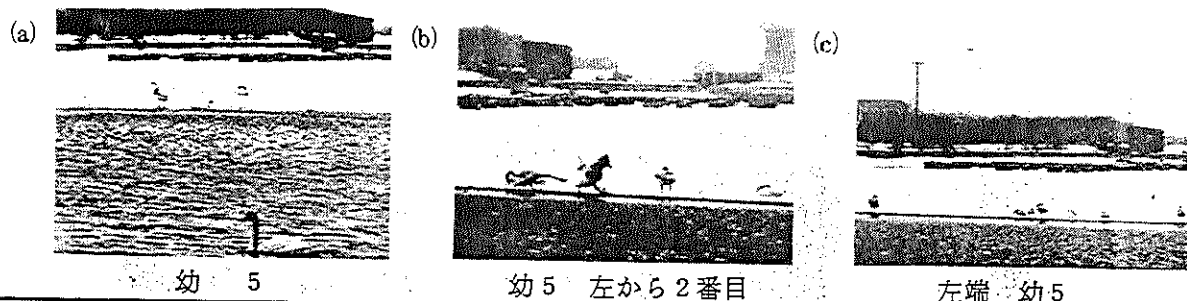
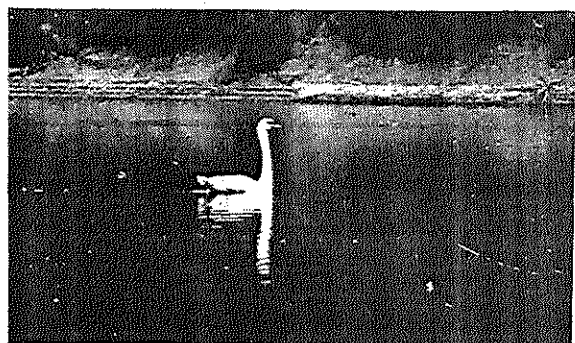


図(3)



利根川のコブハクチョウのこと

小茂田 英彦



前略

お電話ありがとうございました。さっそく利根川へ行ってみましたが、やはりコブハクチョウはおりました。

以前お話ししたかも知れませんが、去年の11月25日、利根川より真西へ35キロほど離れた富岡市の丹生貯水池に白鳥が飛んで来た記事が載りました。『26日の夕方、いずこともなく飛び去ってしまい……』とあり、また、写真がコブハクのような気がしたので別に確かめようとはしませんでした。そうこうしていたら、1月4日1羽増え、見たらコブハクチョウでした。「もしや富岡のが」と思いサンケイ新聞富岡通信部に電話をし、ネガを借りて焼いてみましたが、やっぱり富岡のもコブハクでした。コブハクなら足環をつけているかも知れないと思い、確認したのが1月14日でした。そして数字でなく、ひらがなで何

か書いてあるようでしたが、遠いのでわかりませんでした。

そんなことが、1月17日の読売新聞の関東版に載り、支局の方へさっそく電話があったのだそうです。それは横浜の国立子供の国(たけつぐさん)からで、『うちの1羽が不明なので、そちらへ行ったのがそうではないでしょうか』ということでした。

たけつぐさんに電話で簡単に話を聞いたところによりますと、去年の6月西ドイツのハンブルクから2羽のつがいでもらい、羽を切っておかなかったため、9月5日昼頃2羽で飛んでしまい、厚木の相模川へ行っていったそうです。そして1羽は回収したのですが、1羽は失敗してしまい、11月15日の失敗後姿が見られなくなり、いると考えられる上流の相模湖など捜したが発見できなかったとのことです。この時、足環の話をしたら「うちの左脚に足環をしています、ハンブルクとカタカナで書いてあります」とのことです。この時「ハンブルク」と読むに至っていませんでしたが、1月26日最後の「ク」が何とか読め、まちがいなく横浜のコブだろうとなりました。たけつぐさんもこちらへ来るようなことを言っておりましたが、まだ来ていません。回収したいでしょうがむずかしいと思います。このハクチョウもようやく増えて、2月1日現在成14、幼11の25羽となりました。

また何かありましたらお知らせします。 早々

(S 54. 2. 1. 本田事務局長あて)